

工事費内訳書（作成例）

作成日：平成 年 月 日

工事番号：_____

工事名称：_____

商号及び名称：_____

代表者名：_____ 印

工事区分 工種	金額（円）	備考
道路改良		
道路土工	2,370,285	
排水構造物工	763,426	
石・ブロック積（張）工	10,162,292	
付属物設置工	403,132	
構造物撤去工	197,165	
直接工事費計	13,896,300	A（上記計）
共通仮設費	3,113,662	B
現場管理費	4,810,014	C
一般管理費等 （契約保証費を含む）	2,774,009	D
合計	24,593,985	A+B+C+D
見積価格 （入札書に記載した見積金額と一致）	24,590,000	

※作成にあたっては、次頁「工事費内訳書作成に関する注意事項」に留意すること。

「工事費内訳書作成に関する注意事項」

- 1 工事費内訳書は、入札（見積）書（常陸太田市財務規則様式第 94 号）に記載する見積金額の内訳を記載するものであり、適切な原価計算に基づき積算した結果を記載するものとする。
- 2 A4 版（縦使い）とする。また、複数枚になってもよい。
- 3 工事費内訳書は、作成日、工事番号、工事名称、商号・代表者名（印）を記載した表紙を別様とすることができる。

ただし、閲覧（貸出）用図書の仕事起工概要書（写しを含む。）あるいは、見積書を表紙として使用してはならない。
- 4 代表者印については、電子システムにより提出する場合は、その押印を要しない。
- 5 最下欄の見積価格は、入札（見積）書の見積金額と一致していること。
- 6 前頁の記載例による内訳書の作成は、予定価格が 2, 0 0 0 万円未満の場合のみ可とする。
- 7 工事費内訳書は、積算の内訳を明らかにするものであることから端数処理の場合を除いて、「値引き」や「割引」など理由のない減額項目を記載しないこと。
- 8 工事費内訳書の記載に不備等があったときは、説明を求める場合がある。